



日本海洋政策学会 第14回 年次大会プログラム

統一テーマ：『持続可能な海洋利用における日本の役割
—変化する国際情勢を背景に—』

- *本年の年次大会は昨年同様オンライン（ZOOM ウェビナーを使用）での開催となりました。
ポスター発表はブレイクアウトルームでの発表となります。
- *ZOOM を使用いたしますので参加申込にあたり所属先等での使用制限にご注意ください。
- *両日とも録音・録画を行いますのでご承知ください。

12月1日(木)

(敬称略)

- 13:00 プログラム紹介 [司会] 大会実行委員長 牧野 光琢
- 13:05 開会挨拶 日本海洋政策学会長 坂元 茂樹
- 13:15 基調講演者紹介
- 13:20 基調講演1

「我が国の海洋政策について ～第4期海洋基本計画に向けて～」

内閣府総合海洋政策推進事務局長 村田 茂樹

- 14:00 研究発表1 [各20分（発表15分＋質疑5分）]

[座長:脇田 和美(東海大学)]

- (1)「持続可能かつ公正な水産業に向けたジェンダーの視点:我が国の水産政策文書の分析」
松原 花(東京大学)
- (2)「再エネ海域利用法・促進区域指定にあたっての地域住民との合意形成:
秋田県男鹿市・潟上市沖の事例調査」
林 隼佑(東京大学)

<休憩10分>

- 14:50 研究発表2 [各20分（発表15分＋質疑5分）]

[座長:都留 康子(上智大学)]

- (3)「南極海洋生物資源保存委員会による寄港国措置の実践
—IUU 漁業寄港国措置協定との調和と発展—」 来田 真依子(大阪経済法科大学)
- (4)「海面上昇に伴い水没した沿岸域の法的地位:日本の領海基線への影響を中心に」
本田 悠介(神戸大学)
- (5)「国際Argo計画に貢献する日本の海洋政策に関する評価・分析」
磯野 哲郎(神奈川大学)

<休憩10分>

16:00 ポスターセッション [各 40 分]

< 1 > 「日本海員救済会による普通船員養成の変容 —技術教育以外の教育機能の付与—」
古谷 悠真 (東京海洋大学)

< 2 > 「中国・海南省における海洋観光政策と海洋教育の関係」
張 欽 (近畿大学)

16:40 12 月 2 日開催プログラム紹介

12 月 2 日(金)

13:00 プログラムおよび基調講演者紹介

[司会] 大会実行委員長 牧野 光琢

13:10 基調講演 2

「海を通じて世界に生きる日本 — 海洋科学の果たす役割 —」

埼玉県環境科学国際センター総長 植松 光夫

13:50 学生小論文表彰式

14:00 パネルディスカッション

テーマ 『第 4 期海洋基本計画への期待』

モデレータ: 中原 裕幸 (神奈川大学)

パネリスト: 河野 真理子 (早稲田大学)

中田 薫 (水産研究・教育機構)

山崎 哲生 (大阪公立大学)

和田 良太 (東京大学)

16:00 閉会挨拶

日本海洋政策学会副会長 道田 豊

(注) プログラム、講演者、時間等の変更はホームページ、メール等でお知らせいたします。

◎申込方法、その他等については当学会ホームページを参照ください。

<https://oceanpolicy.jp>